

ふ・れあひ

Human♥Communication

2023
秋号

Vol.48

人と心に響き合う
清恵会グループ広報誌

FREE

ご自由に
お持ちください

F

Face



A

Arm



S

Speech



T

Time



特集

知ってるようで
知らない!?

脳卒中



清恵会トピックス&インフォメーション

頭痛外来のご案内

 社会医療法人 清恵会

特集

知ってるようで知らない!! 脳卒中

「突然倒れたりする怖い病気」というのが、脳卒中に対する一般的なイメージではないでしょうか。でも、「脳梗塞、脳出血、くも膜下出血などいろいろと聞けけれど、よくわからない」という人が多いようです。知ってください、脳卒中のこと。予防は、正しく知ることから始まります。

死因の第4位。 寝たきりの原因の第1位

国立循環器病研究センターによりみると、全国で毎年約27万人が脳卒中を発症または再発しています。27万人といえば堺市の人口のおよそ3分の1です。そして、約12万人が死亡しています。脳卒中を患った人の半数近くが亡くなっていることとなります。

厚生労働省の一昨年の人口動態統計を見ますと、脳卒中はわが国における死因の第4位です(1位:がんなどの悪性腫瘍、2位:心疾患、3位:老衰)。その昔、1951(昭和26)年から約30年間は第1位でした。では、脳卒中患者は減ったのでしょうか? 医療の進歩などによって確かに死亡数は減少しましたが、有病率(患者数はむしろ増加しているといっています)でしょう。脳卒中は一命を取り留めても約7割の人に何らかの後遺症が残るとされており、いわゆる寝たきりの原因となる病気の第1位でもあります。



ほとんどの脳卒中は突然です

「脳卒中」は正式な病名ではなく、医学的には「脳血管疾患(脳血管障害)」と呼ばれます。

突然、何かの症状が現れることを「卒中」といいますが、それには「卒然(＝突然)」として中る(あたる)という意味があるそうです。まさに読んで字のごとく脳卒中とは、脳の血管が突然詰まったり破れたりすることで、脳細胞の動きが急激に悪くなる病気です。

症状は一樣ではありませんが、ひどい場合は意識を失って倒れたり、顔や手足にまひが起きたりします。最悪の場合は死に至ります。早急に適切な医療処置を施す必要があります。時間が経過すればするほど言語障害や視覚障害、半身不随などの重い後遺症を残す可能性が高くなります。



脳卒中は一つではありません

脳卒中と一口に言っても、いくつかの種類があります。大別すると、血管が詰まる病気と

血管が破れる病気に分けられ、詰まる方には「脳梗塞」と、その前触れといわれる「一過性脳虚血発作」があり、破れる方には「脳出血」と「くも膜下出血」があります。また、脳梗塞はさらに3種類に分類されています。

割合としては脳梗塞が約7割を占め、次いで脳出血が約2割、くも膜下出血が約1割となっています。脳梗塞患者の多くは65歳以上の高齢者ですが、脳出血やくも膜下出血の患者は40代から60代が好発年齢です。稀には20代や30代など比較的若い人も発症します。

主な症状

脳梗塞と脳出血の症状は似ていて、意識がもつろうとしたり不明になったりする意識障害、体の片側がまひする片まひ(半身まひ)、片方の手足や顔の半分がしびれる等の感覚障害、ろれつが回らない・言葉が出てこないといった言語障害などを発症します。

くも膜下出血の症状は、突然起こる激しい頭痛、吐き気や嘔

吐などが特徴です。特に頭痛は「後頭部をハンマーでなぐられたよ」感じです。くも膜下出血でも脳出血を合併すると頭痛や嘔気だけでなく半身まひや言語障害なども訴えることがあります。

主な原因と予防

脳卒中の最大の原因は高血圧です。高血圧が長い間続くと動脈硬化になり、やがて血管が狭くなったり詰まったりして脳梗塞を発症します。また、高血圧が血管に負担をかけ続けると、血管が破れて脳出血を起こします。高血圧を解消できれば、日本人の脳卒中は半分に減るとさえいわれています。

高血圧の主な要因は塩分の取り過ぎ、肥満、運動不足、アルコールの飲み過ぎ、喫煙など。つまり、体に良くない生活習慣を改善することが、脳卒中の予防につながります。近道はありません、日頃の心掛けが大切です。



知ってるようで知らない!? 脳卒中

特集



脳血管内治療

t-PA静注療法では効果の得にくい太い動脈が詰まったことにより生じた脳梗塞の患者に対して行う血管内治療(カテーテル手術)※で

血栓回収療法

〈発症から8時間以内〉

t-PA静注療法では効果の得にくい太い動脈が詰まったことにより生じた脳梗塞の患者では劇的に効くことがあります。太い動脈が詰まった場合には効果が得にくいことが問題です。

脳卒中の治療

脳梗塞

t-PA静注療法

〈発症から4.5時間以内〉

くも膜下出血

原因は脳動脈のコブ

脳卒中に占める割合は少ないものの、生命に関わる危険性が高いのが、くも膜下出血です。その主な原因は脳動脈瘤、つまり脳の動脈にできた瘤(コブ)の破裂です。このコブが破裂しないでいる状態を「未破裂脳動脈瘤」と呼び、脳ドックで見つけられることができます。未破裂脳動脈瘤は多くの場合無症

です。基本的には局所麻酔で施術でき、動脈に詰まった血栓を取り除くことで動脈を再開通させ、まひなどの症状を改善させます。動脈の再開通率は80%以上となっていますが、再開通できても必ずしも症状を改善できるわけではありません。症状の改善には1秒でも早い再開通が必要なので、できるだけ早い専門病院への受診が必須です。また、手術である以上リスクがないわけではありせんから、脳血管内治療の専門医による的確な判断と迅速な対応が不可欠です。

※血管内治療(カテーテル手術)とはカテーテルと呼ばれる細い管を使って行う、切らずに治す手術のことです。患者さんの負担が少ない治療として近年脳血管障害に対して積極的に行われています。

脳出血

脳出血は多くの場合、血圧管理などの内科的治療を中心に行いますが、病状によっては開頭手術を実施して血腫を除去します。医療技術の進歩が「小開頭」を可能にしました。



コイル塞栓術



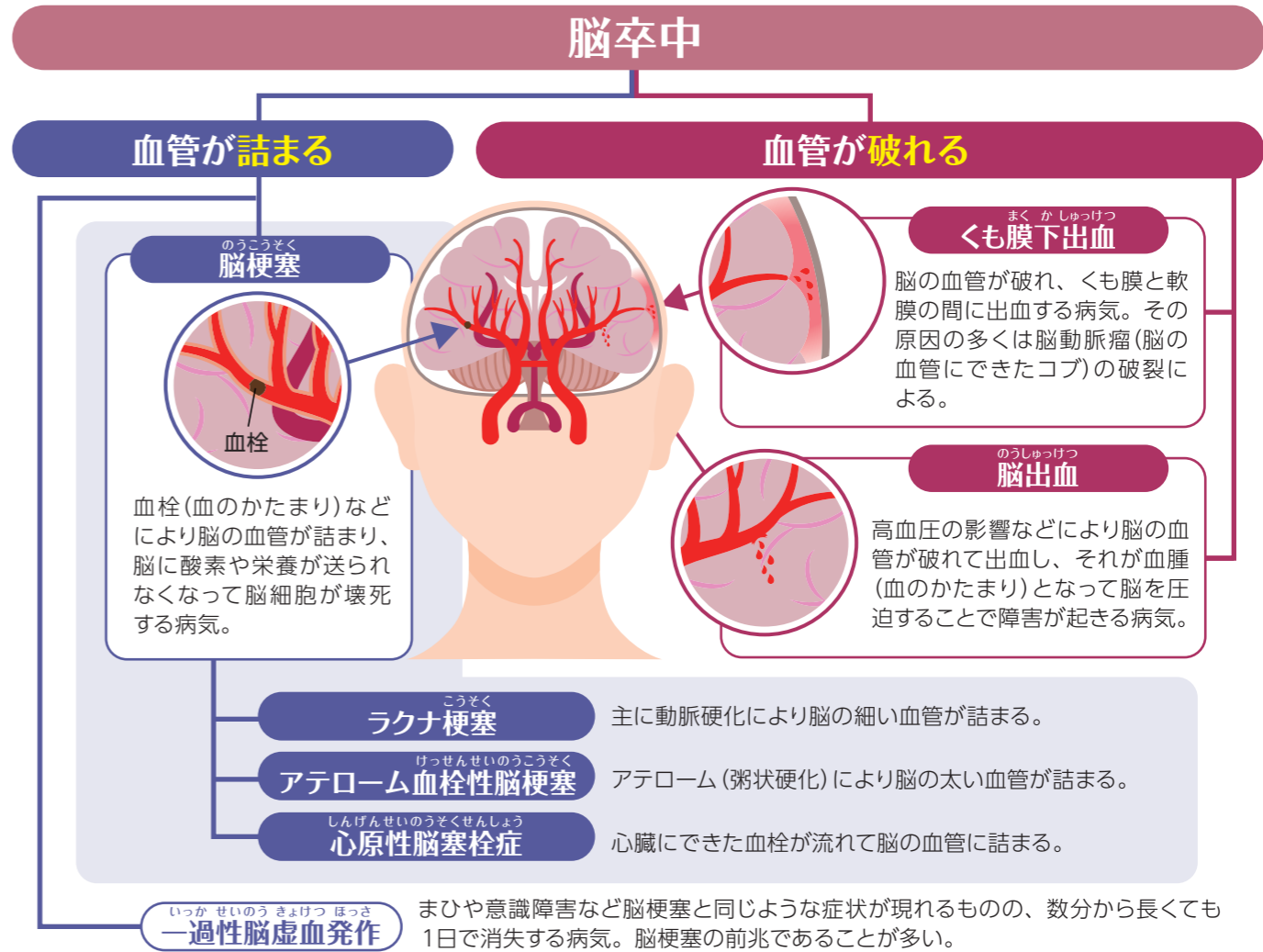
ネッククリッピング術

クリッピング術

脳動脈瘤の破裂を未然に防ぐ開頭手術です。コブの根元(ネック)に金属製のクリップをかけて、コブへの血流を遮断します。

コイル塞栓術

クリッピング術とは違い、開頭しない血管内治療(カテーテル手術)です。手首や足の付け根の血管から脳動脈瘤の中まで、カテーテルと呼ばれる細い管を通し、コブの中にプラチナ製のコイルを詰めて、血液が流れ込まないよう塞ぎます。



脳卒中が疑われる症状



- 片方の手足や顔の半分にしびれやまひが起きている。
- ろれつが回らない、言葉が出ない、話が理解できない。
- 体がふらつく、立てない、歩けない。
- 片方の目が見えない、物が二重に見える、視野が欠ける。
- 一時的に意識を失う、意識はあるが反応が鈍い。
- 経験したことのない激しい頭痛がする。

このような症状が表れたら、すぐに救急車を呼んでください。

119



脳卒中は**FAST**で確認!

Face



顔

自然な笑顔ができますか?

Arm



腕

腕を上げたままキープできますか?

Speech



言葉

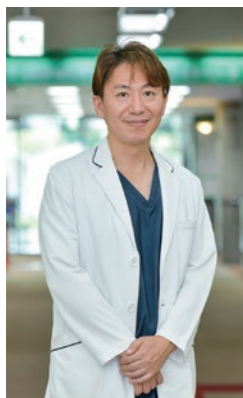
いつものように話せますか?

Time



時間

以上のような症状があれば、すぐに119にお電話を!



木村 僚太

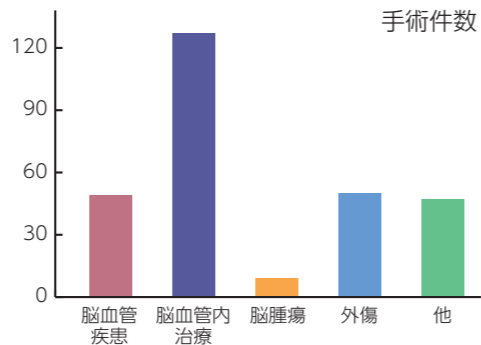
清恵会病院 脳神経外科 副部長

1997年、奈良県立医科大学を卒業し、同大脳神経外科学教室へ入局。2000年、同大学院に入学。2003年、ドイツのマインツ大学に留学。この間、脳卒中の研究を行い、2005年、博士号取得。その後、複数の医療機関での勤務を経て2015年、清恵会病院に入職。現在に至る。

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医・指導医
日本脳卒中学会脳卒中専門医・指導医
日本脳卒中の外科学会技術指導医
日本脳神経血管内治療学会脳血管内治療専門医・指導医

負担が少ないカテーテル手術は高齢者でも受けられるケースが多く、治療の幅が広がります。しかし、病状は人それぞれ千差万別で、カテーテル手術が良い場合もあれば、開頭手術が良い場合もあります。どちらでも良いという場合もあります。大切なのは、どちらがより安全で確実か、ということ。その選択肢が清恵会病院にはあります。それは、開頭手術にもカテーテル手術にも対応できる脳卒中専門

清恵会病院 脳神経外科の実績(2022年)



医が在籍しているからに他なりません。

清恵会健診センターの「脳ドック」

脳ドックとは、脳卒中や脳腫瘍など、脳の病気を検査するための専門的な人間ドックです。脳卒中の危険因子(高血圧、糖尿病、脂質異常など)がある方、血縁者に脳疾患を患った人がいる方、脳の健康に少しでも不安のある方、健康と思われる方でも、ぜひ一度、受診してください。比較的短時間で済む3コースをご用意しています。


〈お電話でのお申し込み・お問い合わせ〉

☎072-223-5020(月曜~土曜 8:30~17:00)

清恵会病院には脳卒中の専門医が常駐しています。
24時間365日、万全を期した受け入れ体制

清恵会病院は、日本脳卒中学会が認める「一次脳卒中センター(PSSC)」認定施設です。PSSCとは、24時間365日体制で脳卒中患者を受け入れ、急性期脳卒中診療担当医師が可及的速やかに診療を開始できる医療施設のこと。

とで入院期間の短縮、社会復帰率の向上に寄与しています。

 **救急隊員からの脳神経外科医への直通コール**

また、当院では2015年より脳神経外科医、脳血管内治療医、脳神経内科医、セラピスト、薬剤師、看護師などの専門スタッフで構成した「脳卒中センター」を設置し、救急搬送時から入院生活に至るまで、チーム医療による一貫した治療・看護・リハビリテーションを実践しています。

地域の救急・急性期医療を受け持つ清恵会病院の脳神経外科では、脳卒中、脳腫瘍、頭部外傷などの脳疾患を常時受け入れ、診療しています。特に脳卒中の治療は時間との闘いでもあることから、当院では「脳卒中コール」を導入しています。救急隊と当院の脳神経外科とを結び直通回線です。堺市内はもちろん、大阪市、松原市、狭山市などの周辺地域からもコールがあります。

さらに、厚生労働省施設基準の「脳卒中ケアユニット(SCU)」も併設しています。SCUは脳卒中専門の集中治療室であり、高度な治療によって死亡率の低下を目指すことはもちろん、早期にリハビリチームと連携するこ

脳卒中が疑われる救急搬送の場合、救急隊員から医師に直接連絡が入ります。連絡を受けた医師は直ちに関係各所と連携して準備を整え、到着から10分以内にCT検査を、30分以内にM

 **開頭手術とカテーテル手術のどちらにも対応**

脳卒中(脳梗塞や脳動脈瘤)の治療は近年、低侵襲(身体に負担が少ない)な血管内治療が増えています。開頭せず、血管内に細い管を通して行うカテーテル手術です。もちろん当院でも早くから実施しており、脳動脈瘤に対する治療では、開頭手術とカテーテル手術の割合は現在1対3といったところです。他の医療機関の中には、すべてカテーテル手術という病院もあります。切開する手術に比べて身体的

RI検査を実施します。その結果を迅速かつ的確に判断し、必要に応じて手術に移行。4・5時間以内というタイムリミットがあるrPA(血栓溶解療法)は20分以内に、血管内治療は40分以内に開始することを目標としています。



Topics

頭痛外来のご案内

一言で「頭痛」といっても300種類以上あり、予防法や対処法は異なります。頭痛の種類に適していない治療を選択すると、当然ですが症状は改善しません。

一次性頭痛
脳に異常がない 片頭痛、緊張型頭痛、群発頭痛や神経痛など

二次性頭痛
脳に異常がある くも膜下出血、脳出血、脳腫瘍、脳炎、髄膜炎など

片頭痛治療は年々進化しており、ここ数年でさまざまな薬が登場しています。薬の選択肢の増加に伴い、片頭痛の治療方法も大きく変わってきています。

また、片頭痛だと思って受診し、MRI検査をして「二次性頭痛」の症状が発見される場合もあります。

「ただの頭痛だから」と自己判断で市販の鎮痛剤を飲んだり、我慢したりせず専門医療を受けてみませんか？



〈診療日程〉2023年10月15日現在

第2・4水曜日 13時30分～14時30分
毎週木曜日 13時15分～14時45分

〈予約方法〉

【完全予約制】予約受付時間 14時～17時
TEL 072-2223-8199(代表)へ
お電話いただき、「内科外来受付」で
ご予約ください。

キーワード

病院で専門的な治療を受けることができるのに

「我慢」している人がほとんど



Topics

ご存じですか？「清恵会病院の看護外来」

看護外来は、普通の外来と何が違うの？

看護外来は「治療」を行う外来ではありません。

患者さまやご家族からの療養生活での困りごとやお悩みなどについて、専門的な知識や技術をもった看護師が相談をお受けし、安心して患者さまが望まれる療養生活を継続していただけるよう支援を行っていくことを目的とした外来です。

難しく書いていますが、例えば…

「器具が上手く使えなくて…」

「今度旅行に行くんだけど、旅行中のケアはどうすればいい？」

「使っている医療機器の種類を見直したいのだけど…」

などなど。

「こんなこと聞いていいのかな？」というように「細かいことでも、悩みや疑問の大きさにかわらずお気軽にご相談ください。」



	ストーマ外来	呼吸器看護専門外来
対象	ストーマ(人工肛門・人工膀胱)を保有している患者さま、ストーマ造設手術を予定している患者さまを対象とした外来です。	在宅酸素療法を行っている患者さまとそのご家族を対象とした外来。 (在宅酸素導入前の方も対象となっています)
特徴	ストーマケアや日常生活でのアドバイス、スキントラブルの相談・対応をはじめ、ストーマ装具の選択や最新の情報提供など、より快適に自分らしく生活を送ることができるよう支援しています。	呼吸器症状や全身症状の観察を行い、酸素流量の調整や在宅酸素機器(酸素ボンベやカート等)の見直しをはじめ、病気や日常生活での困りごとをうかがい、解決策を一緒に考え在宅での療養ができるように支援しています。
診察日	【完全予約制】 毎週金曜日 担当：皮膚・排泄ケア認定看護師 ※他院でストーマ造設された方も受診していただけます。 ※主治医・看護師までご相談ください。	【完全予約制】 毎月第4月曜日 9:30～12:00 担当：慢性呼吸器疾患看護認定看護師 ※ご予約は主治医・看護師までお申し付けください。

「夢の架け橋」を歩む学生たち



清恵会第二医療専門学院の放射線技師科では臨床実習報告会を開催いたしました。

診療放射線技師をめざす者は学校教育の集大成として約3カ月の臨床実習を受けることが必須となっています。この臨床実習は各提携病院で1~3名のグループで行い、診療放射線技師として臨床現場へ羽ばたく、**教育から臨床への「架け橋」**となっています。

初めて患者さまと接するため緊張と不安の毎日ですが、これを乗り越えたときには医療人として大切な信念を得ることができます。それは社会医療法人清恵会の理念でもある《命の尊さ》です。診療放射線技師は高い技術と知識が求められますが、それ以上に大切なことが、この計り知ることのできない命の重みを学ぶことでもあります。それが臨床実習です。

今回、この臨床実習報告会では、すべての学生たちから患者さまと向き合うことの喜びと大切さについて報告がありました。その一例が**「検査を通じて患者さま一人の笑顔が多くの方々の喜びになり、そして医療を通じて社会に貢献できる診療放射線技師になりたい。」**です。

誌面上ではございますが、日頃からご支援を頂いております提携病院さま並びに関係者の皆さまに厚くお礼申し上げます。

そして最後に、当校の学生たちが一人の人間としても成長できるのは、何よりも母体が清恵会病院であるからです。密な連携による臨床型教育や、清恵会病院で事前実習を行うことにより、自ら計画を立て実現していく力が備わっていきます。学生と教員の垣根を越えて「同じ仲間として学ぶ」ことができるのは清恵会グループであるからです。

さて、清恵会第二医療専門学院は**次世代型の多職種連携教育を実現するため、看護学科・放射線技師科が合同校舎となり、令和7年度に新たに生まれ変わる予定**です。ご興味のある方やお知り合いの方がおられましたら、ぜひ一度、当校にご相談ください。



機器の特長 3つの“安心”

安心 1

被ばく線量の大幅な減少。
従来X線装置より**65%の被ばく線量低減**を実現。

安心 2

コンパクトで昇降可能な寝台。
寝台が床面から天板面まで**48cm昇降**できるため、安心して乗降することが可能。



寝台の昇降が可能。

安心 3

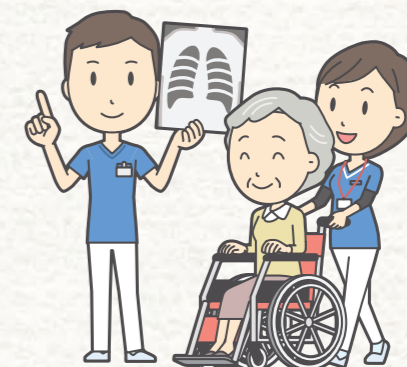
広々とした検査空間を確保。
多目的検査に対応できる幅広い動作範囲があり、リクライニング車椅子での検査も実現。



装置を90°回転させることで、リクライニング車椅子での撮影が可能。

清恵会三宝病院では、患者さまにより安心して検査・治療を受けていただける環境づくりのため、高画質・低線量のデジタルX線TVシステム「Astorex i9[®]（キヤノンメディカルシステムズ製）」を導入しました。

当院ではこのAstorex i9[®]を用いて、人工透析患者さまのシャント血管の狭窄や閉塞を治療するための経皮的血管形成術（PTA）、飲み込みの過程や状態を正確に評価するための嚥下造影検査（VF）などを行っています。



より安心して検査・治療を受けていただくために

清恵会グループのご紹介

法人本部

清恵会病院

急性期機能病院

〒590-0064
堺市堺区南安井町1丁目1番1号

☎ 072-223-8199(代)



清恵会訪問看護ステーション

訪問看護・
訪問リハビリテーション

〒590-0064
堺市堺区南安井町1丁目1番1号
清恵会病院8階

☎ 072-232-6074

清恵会ケアプランセンター

介護相談・ケアプラン作成

〒590-0064
堺市堺区南安井町1丁目1番1号
清恵会病院8階

☎ 072-238-6860

清恵会ヘルパーステーション

訪問介護・
生活支援サービス

〒590-0065
堺市堺区永代町2丁目3番9号

☎ 072-320-9055

清恵会三宝病院

複合型慢性期機能病院

〒590-0903
堺市堺区松屋町1丁目4番地の1

☎ 072-226-8131(代)

さんさんデイケア三宝

通所リハビリテーション

きらきら訪問リハ三宝

訪問リハビリテーション

〒590-0903
堺市堺区松屋町1丁目4番地の1

清恵会三宝病院 介護事業部

☎ 072-225-0066

清恵会向陵クリニック

人工透析外来

〒590-0024
堺市堺区向陵中町6丁目4番10号

☎ 072-257-3131

清恵会医療専門学院

看護師・准看護師養成校

〒591-8031
堺市北区百舌鳥梅北町2丁目83番地

☎ 072-259-3901

清恵会第二医療専門学院

理学療法士・
診療放射線技師養成校

〒590-0026
堺市堺区向陵西町4丁目5番9号

☎ 072-222-6226

訪問看護をご存じですか? ご自宅や施設で看護やリハビリテーションを受けることができます。

このようなことでお悩みではありませんか?

住み慣れたご自宅で安心して過ごせるよう、看護師や療法士がサポートさせていただきます。まずはお気軽にご相談ください。



薬が多くて
飲み忘れがち



食事をするとむせる、
うまく飲み込めない



よく転倒する



安心して
自宅での入浴したい



家族で介護できるのか、
どうすればいいのか…

お問い合わせ先

清恵会訪問看護ステーション
☎ 072-232-6074
(月曜から土曜 9:00 ~ 17:00)

または清恵会病院の
外来スタッフに
おたずねください。

